

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

再び通らぬ 一度きりの尊い道を いま歩いている

えのもとえいいち

榎本栄一

「勉強が大変」「友達とうまくいかない」「学校にいきたくない」

毎日が楽しく充実することもあれば、そうでない時もあるかもしれません。何をやってもダメ、むしろやる前から悪いイメージばかり。がんばらねばとはおもうが、どこか空元氣からげんき。そんなあなた、心配しなくても大丈夫。家族、先生、友人、クラスメートはあなたのそばにいてくれます。失敗しても、大変なときでも、つらいときでも、知らないところでたくさんの人々に支えられているのです。そして仏さまにも…。

みんなに支えられている道だからこそ「尊い」のです。しかも、その道は「一度きり」ゆえ、なお尊いといえるのです。

そのような「一度きりの尊い道をいま歩いている」。そう思えるところに、どんな失敗も困難も引き受けていける力強さをたまわることができるとは思いませんか。

今月の聖語

ただそしられるだけの人、またただほめられるだけの人は、過去にもいかなかったし、未来にもいらないであろう、現在にもいない。

『ダンマパダ』

私たちは様々な人との関係の中で生きています。どんな人とも仲良く付き合っていくことができればいいのですが、現実には「あの人はいやだ」と感じることもあります。

ですが、その「いやな人」が他の人にとっては「いい人」だと言われていた、という経験をした人はいませんか。つまり、「いやな人」というのは、自分にとっていやな人のことであって、誰にとってもいやな人ではないということなのです。同様に「いい人」も、誰にとってもいい人だとは限りません。

このように私たちは自分の都合によって人を「いい人」、「いやな人」と勝手に判断してしまいがちです。今月の聖語は、「ただ悪くいわれるだけのいやな人もしなければ、ただほめたたえられるだけのいい人もいない。人を勝手に判断してはならない」と語りかけているように思われます。

人を一面的にしか見ることができない私たちのあり方を今一度見つめ直したいものです。